



サザンカ



ツグミのなかま



赤トンボ



サギのなかま



生物多様性保全に向けた活動の報告

当事業団では、「三重の豊かな自然を未来に伝える」を基本コンセプトとして、生物多様性保全活動を昨年度から開始しました。

その啓発活動の一環として、8月29日に、松阪市（MAPみえこどもの城）において「ぼくら生き物調査隊 採って、調べて、形にしよう」と題して、河北 均さん、山路武夫さん、中野環さん、宮本佳典さん、そして今村隆一さん（県立博物館）らを講師陣にお招きして、親子動植物同定会及び標本づくりの実習を行いました。当日は、おおよそ29組、70人ほどの多くの方々に参加していただきました。



子どもたちは、飼っていたカブトムシ、クワガタやこの日のために家の近くで採集した蝶、とんぼ、植物、貝殻を持ち寄り、採集物の種名などの説明



を真剣に聞いたりした後、おそらくはじめての体験であろう標本づくりに一生懸命でした。

なかなかうまくいかない展肢、展翅（虫の肢あしや翅はねをのばして整えること）に付き添いの親も少々熱くなったり、悪戦苦闘する子供もいましたが、出来上がった標本にとっても満足していました。

これをきっかけに生き物にさらに興味を持っていただけたら幸いです。こうした機会を今後も充実していきたいと思っておりますので、ご参加のほど宜しくお願いいたします。



第2回三重県地球温暖化防止活動推進員研修会を開催

地球温暖化防止活動に携わる推進員のための研修会を9月4日に事業団で開催し、34名の参加を得ました。午前中は、朴センター長の挨拶の後、環境省中部地方環境事務所の環境管理専門官の原田和昭氏より「地球温暖化の現状と今後の方向性について」をテーマに講演いただきました。温暖化の基礎知識から現在の国の温暖化防止への取組や「CO₂削減に向けた世界の先進事例」の紹介など幅広く説明がありました。

また、午後には推進員交流会を開催し、「日頃の活動について」をテーマに4つのグループに分

かれ意見交換を行いました。日頃の活動の成果や活動を通じて感じていること、温暖化防止センターへの要望など活発な情報交流が行なわれました。最後に各グループの代表者による発表があり、参加者からは、「他の推進員の活動内容や他地域の取組が分かって良かった」などの意見が出されました。

こうした声もあり、温暖化防止センターでは、推進員が自由に意見交換できる交流の場として推進員井戸端会議を当面11月までの、第4水曜日の午後を実施することとしています。



お問い合わせ先 三重県地球温暖化防止活動推進センター

tel 059-245-7517 fax 059-245-7518
ホームページ <http://www.mec.or.jp/ondan/>



平成22年度水道水質管理セミナーの開催

当事業団において、10月1日に「平成22年度水道水質管理セミナー」を開催いたしました。

当日は、水道事業体、企業、行政機関などから多数の参加をいただきました（51施設67名）。

セミナーでは、一般社団法人全国給水衛生検査協会 水道水検査技術委員会委員長の船坂鎌三氏より「水道水質を取り巻く動向と最近の話題について」というテーマで、水道の水質基準について見直し（カドミウム 0.01mg/l以下⇒0.003mg/l以下など）が図られたことや、基準等の今後の動向（厚生労働省の動き）、水質検査の信頼性の確保に関する取組・課題などについて説明がありました。

また、当事業団水道チーム古川リーダーが「次

亜塩素酸ナトリウム消毒管理の重要性の再確認」について、説明しました。

水道水に関するセミナーは、今回が2度目の開催となりますが、今後も定期的に開催してまいります。



お問い合わせ先 調査部 環境分析課

フリーアクセス 0120-0592-02 tel 059-245-7508 fax 059-245-7516
ホームページ <http://www.mec.or.jp/>



みえ生物多様性シンポジウム 2010 を開催

生物多様性についての理解を深め、その保全に向けた活動の契機となるように、「みえ生物多様性シンポジウム2010」を県、商工会議所連合会と事業団が主催し、9月9日に、津市（センターパレスホール）にて開催しました。

「森・里・海の連環が守った生物多様性」と題する国際日本文化研究センターの安田喜憲教授の基調講演では、森のわき水が人里を流れて海に注ぐという循環を守ることの重要性や、森林が人間の心に与える安らぎなどについて説明がありました。

また、県から、三重県自然環境保全条例の基本理念や自然環境保全地域などについての説明がありました。その後、「生物多様性を考える～次世

代に向けて～」をテーマとするパネルディスカッションがあり、パネリストからは、マレーシア・ボルネオ島での熱帯雨林の保全の取組や祓川（^{ほらいがわ}松阪市、明和町）での地域・NPO法人・行政と連携した活動事例などの紹介があり、一人ひとりがライフスタイルを変え、行動を起こすことの大切さなどが提言されました。（参加者約250人）



お問い合わせ先 総務部 企画課 tel 059-245-7505 fax 059-245-7515

第17回情報交換会を開催

国際規格審査登録センター（ISC）では、企業の皆様方のISOへの取組事例の発表や、マネジメントシステム認証制度に関する種々の課題をご紹介する情報交換会を行っており、今回は8月23日に桑名市（くわなメディアライブ）で開催しました。



まず、登録事業者の佐藤醸造株式会社様より「ISO、STEP活動（5S）」のテーマで、職場改善について発表いただきました。

次に、三重県環境森林部より「PCB廃棄物の適正管

理」の最新の動向について説明がありました。

また、合資会社品質経営研究所様より「内部監査の有効活用－効果的な内部監査の進め方」について講演をいただきました。

参加者の皆様からは、身近な取組事例や、処理困難廃棄物の最新動向、効果的な内部監査の方法について参考になったとの好評をいただきました。

講演会終了後には、多くの事業者の方々と、有意義な情報交換をさせていただきました。



お問い合わせ先 国際規格審査登録センター（ISC） tel 059-245-7514 fax 059-245-7524
ISC ホームページ <http://www.mec.or.jp/isc/>



新小山最終処分場の建設工事が着工

四日市市小山町地内において計画を進めてまいりました新小山最終処分場の建設工事が、平成22年8月より着工いたしました。

現在供用中の三田最終処分場を後継する処分場として、平成24年10月の開設を目指しています。この処分場は、県内から発生する産業廃棄物と、大規模地震などが発生した場合の災害廃棄物の受け皿としての機能を併せもつ処分場として整備するもので、総面積は約28万平方メートル、総埋立容量は約168万立方メートルの管理型最終処分場です。

なお、工事の実施にあたっては、周辺地域の住民の皆様にご迷惑をお掛けしないよう周辺環境に配慮しながら工事を進めてまいります。

お問い合わせ先 新最終処分場建設室（廃棄物処理センター） tel 059-328-2727 fax 059-328-2967

万葉人の
愛した草木

その二十二



葦辺ゆく 鴨の羽がひに 霜降りて

寒き夕べは 大和し思ほゆ

志貴皇子(巻一の六四)

「ねぐらを求めてあしべを飛び交う鴨の翼にまで、霜の降りそうなこんな寒い夕方には旅宿のつらさに、自分の郷里の大和の国が恋しく思い出されます。」

志貴皇子は天智天皇の第七皇子ですが終生皇位にはつかず、心の優しい人でした。

この歌は、文武天皇の難波行幸に随行した時に詠まれたものといわれています。

日本のことを豊原瑞穂国といい、太古のわが国は、アシでおおわれていたと思われま

す。アシの名は「悪し」に通ずるので対語のヨシとなったといわれています。また、ハマオギとも呼ばれています。

ヨシは刈りとって乾燥し、燃料のほか垣根や屋根をふき、よしずなどに使われるなど、人びとのくらしを支えてきました。

葛山博次著「万葉集の植物」より



アシ (ヨシ)



冬枯れのアシとカルガモ

平成22年度 ISO 研修参加者募集!!

ISO14001/ISO9001 内部監査員養成セミナー 〈2日間コース〉

対象 新しい内部監査員の養成、ISOコンサルタントを目指す方 等

内容 規格要求事項の解説、内部監査の説明、内部監査の場面を想定したケーススタディ

開催月日

ISO14001 内部監査員養成セミナー

平成22年10月21日(木)・22日(金)	平成22年11月25日(木)・26日(金)
平成23年1月20日(木)・21日(金)	平成23年2月24日(木)・25日(金)

開催場所 財団法人 三重県環境保全事業団 河芸社屋 2階大会議室

定員 30名

講習時間 9:00 ~ 17:00

ISO9001 内部監査員養成セミナー

平成22年12月16日(木)・17日(金)	平成23年3月10日(木)・11日(金)
-----------------------	----------------------

参加費 42,000円 / 1名
(昼食付き、消費税含む)

お問い合わせ先 調査部環境調査課 ISO研修担当 tel 059-245-7503 fax 059-245-7519

■河芸社屋

〒510-0304 三重県津市河芸町上野 3258 番地
tel 059-245-7505 (代表) fax 059-245-7515
フリーアクセス 0120-0592-03
ホームページ <http://www.mec.or.jp>



■廃棄物処理センター

〒512-1102 四日市市小山町字西北野 3234-1
(溶融処理事業)
tel 059-328-8650 fax 059-328-8652
(新最終処分場建設室)
tel 059-328-2727 fax 059-328-2967

■三田最終処分場 (埋立処分事業)

〒510-0841 四日市市三田町9番地の地先
tel 059-349-5016 fax 059-346-6500

●事業団へのご意見・ご要望
または「みえか」のご感想をお寄せ下さい。
e-mail : mec@mec.or.jp